

平成29年度福岡市小図研 7月定例会記録①

7月定例会の内容

日時：平成29年7月29日（土）

13:30～15:30

場所：福岡市立舞鶴小学校図工室

内容 教材研修

低学年「すてきなぼうしのおまつりだ」
（工作）
高学年「立ち上がれ！マイライン」
（立体）

授業研究部会②

参加者：33名

ぼうしの形づくりの際には、色画用紙よりも色造形用紙（今回はトータルカラーを使用）を、材料として提供する。

基本的なぼうしの形については、筒型や冠型の2種類の参考資料を提示する。

※ 参考作品は、子どもがイメージを広げやすいように簡素なものを準備する。



第2学年題材

「すてきなぼうしのおまつりだ」 （工作）

講師：舞松原小学校 北田尚雄先生

★題材指導の考え方と指導の実際★

題材のねらい

本題材は、自分のつくりたいぼうしを想像しながら、材料の好きな色や形を選び、楽しく工作に表す題材である。また、材料の組み合わせの美しさや、材料の色や形などに関心をもち、そのよさを生かした色や組み合わせ方を発想し、はさみや接着剤などを効果的に使いながら、おしゃれなぼうしをつくることをねらいとしている。

学習の流れ

第1・2時：自分がつくりたい帽子の色や形を考え、はさみやホチキス、接着剤などの用具を効果的に使いながら形を構成することができる。

（発想・構想）

ぼうしをつくる際に切り取った色造形用紙のパーツ（端切れ）を、不要物にせず、再利用していけるように、そのパーツを参考作品に取り入れて提示する。



ビルをイメージして切り込みや折り方を工夫しました。

【実技体験】



○ 製作途中で、実際にぼうしをかぶり、全体で鑑賞を行い、友達の作品のよさや工夫に気付かせるようにする。

第3・4時：自分のぼうしの色や形に合わせて、紙テープなどの付加材料を使って飾りつけを楽しく表現することができるようにする。(表現)

飾り付けの材料として、7色程度の紙テープを、それぞれの活動グループに提供する。

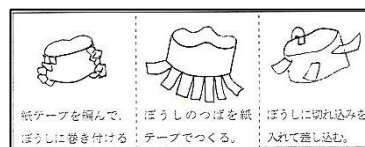


○ あえて材料を限定(紙テープ)し、工夫する思考力をつけさせる。

紙テープを使った飾り付けの工夫については、試しの活動のあと、どのような方法ができるか、全体で話し合わせ、自らの表現のヒントとなるようにする。



色造形用紙と紙テープで効果的な組合せを試す参加者



○ 活動する中で紙テープの新たな使い方に気づかせる。



第5時：材料の組み合わせの美しさや、おもしろさに関心をもって見ることができるようにする。(鑑賞)



つくっている途中にも鑑賞活動は行われています。

全身鏡を準備し、ぼうしをかぶった自分の姿を見ることができるようにするとよい。



[板書]

子どもが表現を創るとは…

単に作品のみならず、活動の中で子どもが会話や対話などを通して、オリジナルの表し方や意味を見出していくこと。